



洞杉群 [K-15]

魚津のパワースポット

片貝南又谷周辺の標高500~700m付近に群生している推定樹齢500年以上の天然スギ。古木で幹に空洞があることから「洞杉」と呼ばれ、最大のもので幹周りが約16mあります。洞杉の多くは巨大な岩を根本に抱え込むような形で生育しており、多雪環境に順応して複雑な樹形となった様子は他では見られないような独特の景観を作り出しています。



毛勝三山

毛勝山 標高2,415m
釜谷山 標高2,415m
猫又山 標高2,378m

魚津市と黒部市の間にある山岳群で、山々の雪解け水が魚津の豊かな水循環を形成しています。また、毛勝山の万年雪は、海岸線から非常に近い距離にあるといった特徴があります。



僧ヶ岳(雪絵)

魚津市民の心の山

僧ヶ岳は布施川の源流であり、片貝川と黒部川の分水嶺の一角も成す山。春の雪どけ時になると、山肌や残雪によって虚無僧や猫、馬などの雪絵(雪形)が現れ、田植えの時期のめやすとされていました。



蛇石 [K-14]

片貝川上流南又谷の河原

白い花崗岩に黒っぽい輝緑岩の岩脈が入り、蛇が巻きついたように見えることから「蛇石(龍石)」と呼ばれています。古来からこの石を叩けば雷雨になると信じられ、毎年5月中旬には、雨乞いの神事が行われています。



片貝山ノ守キャンプ場 [I-10]

自然とふれ合う憩いの場

片貝川上流にある県定公園内に整備された自然豊かなキャンプ場。場内ではバーベキューのほか川遊びや釣りが楽しめます。

●魚津市三ヶ字ゴツタ84番1
☎0765(32)7755
¥/入場無料、一部施設利用有料
営/4月下旬~11月30日まで



東山円筒分水槽 [F-5]

国登録有形文化財(建造物)に登録

近隣3地区に農業用水を公平に分配するために、1954年に建設された直径約9mの円形の水槽です。電力は一切使用せず、サイフォンの原理を用いた自然の力で水が湧き出ています。水があふれだす光景はとても涼しげで、近年は「日本一美しい」とも表され、SNSなどにも取り上げられた話題の観光スポットです。2020年4月には国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。



魚津のうまい水 [C-4]

あいの風とやま鉄道魚津駅前の水飲場

国文学者の故池田弥三郎氏が「日本一うまい」と折り紙をつけた魚津の水を口にできる水飲場です。地下水をくみ上げており、年間を通じて一定温度の水を供給しています。昭和61年2月とやまの名水に選定されました。



片貝川

延長27km、2級河川

毛勝三山を中心とする山岳地帯を集水域とし、源流から河口まで流域のほぼ全てが魚津市内で完結しています。流域面積169km²、平均勾配8.5%で、日本屈指の急流河川です。「片貝川の清流」として、昭和61年2月とやまの名水に選定されました。



魚津の水循環

海拔0mから山頂まで高低差2,400mが約25kmに収まる急峻な地形

魚津市は、源流から海までの水の循環が1つのまちで完結し、その循環を一目で見渡すことができる世界でも稀な地域です。魚津の海と大地を巡る循環の中で作り出される良質で豊富な水は、多様な生物を育み、市民の生活や産業を支えています。